

# 市民と市長とのテーマトーク

問合せ

広報広聴課 ☎ 33 4 1 0 1

市民生活に関する具体的なテーマのもとに市民と市長が懇談する「市民と市長とのテーマトーク（懇談会）」の平成27年度前期分を募集します。募集要項をご確認の上、お申し込みください。また、平成26年度に開催したテーマトークの様子を紹介します。（抜粋）

## ▲ 募集要項 ▼

■ **対象** 市内に居住、または通勤・通学している人により構成された団体やグループ（各種団体、自治会、企業、学校のサークルなど）で、特定の政党を支持する団体や暴力団、宗教を目的とする団体などは除きます。

■ **テーマ** 一方的な要求や苦情などではなく、広く市民生活に関する事柄の中から、具体的なテーマを団体などで設定してください。

■ **参加人数** 原則として10人から30人まで

■ **開催月** 7月、8月、10月（前期）

※月2回程度

■ **開催日時** 平日の午前9時から午後9時までの間で、時間は90分以内

■ **開催場所** 申込団体などが設定され

た場所（市内に限る）で行います。減免制度のある公共施設以外で会場使用料などを要する場合は、ご負担いただきます。

## ■ 開催方法

- 1 会場の手配や準備は、主に申込団体などで行っていただきます。
- 2 市長のほか市長が必要と認める職員が同席します。
- 3 懇談会の内容は、団体などの代表者からの趣旨説明、テーマについての市長説明、市民と市長との懇談を基本とします。
- 4 質疑や意見交換をする場とし、一方的な要求や苦情などは話題としません。

■ **開催申込** 申込書にテーマや開催希望日時（第1～第3希望）、開催場所などを記入し、広報広聴課へ提出く

ださい（持参、郵送、ファックス、メール）。会則や規約、名簿がある場合は添付してください。申込書は市ホームページや広報広聴課（本庁2階）、各支所地域振興課・出張所・公民館にあります。なお、同一団体などの開催申込は、1年につき1回です。

■ **申込期限** 5月29日（金）

■ **開催決定** テーマや開催希望日時などを確認し、開催可否の決定通知書をお送りします。なお、開催決定後、緊急の事情が生じた場合には、開催を延期することがあります。

■ **公表** 開催したテーマトークの概要は、広報やつしろや市ホームページなどで公表します。

平成26年度は、熊本県手話サークル八代わかぎや熊本県立八代東高等学校の生徒とのテーマトーク（懇談会）を開催しました。両団体を合わせると約80人（関係者など含む）の参加があり、テーマにそったさまざまな質問や意見が出されました。

参加者からは、「市長と懇談できて幸せだった」「手話を理解してもらおう活動を、これから勉強しながら取り組みたい」「市と積極的に関わりながら、八代市の担い手として八代を元気にしていきたい」などの感想をいただきました。2つの団体とのテーマトークの様子を紹介します。（抜粋）

テーマトーク① 平成26年11月11日  
熊本県手話サークル八代わかぎ

**市民** (同サークルの活動状況報告。手話を学ぶとともに、聴覚障がい者の理解を深め、聴覚障がい者が円滑に社会生活を営むことができるよう諸活動を行っていることなどの説明あり)

**市長** 皆さんの苦労が、思っていた以上に大変だということが分かった。住み良いまちづくりをしていくには、手話通訳者の養成が大切であり、その環境を作るための諸問題を改善していきたい。

**市民** 手話通訳の派遣担当者はボランティアで行っている。夜中に消防から呼び出されることもあり、24時間気にながら生活をしている。また、若い世代に担当を任せていこうと考えている。市も一緒に考えてもらいたい。



▲サークルの活動を発表する熊本県手話サークル八代わかぎのメンバー

**市長** 派遣担当者がボランティアだとは知らなかった。派遣事業の問題点を早く改善し、若い世代につなげることが大事だと感じた。手話サークルは大変大事な分野であり、行政もサポートしていかなければならない。国や県と連携して頑張りたい。

●このほか、参加者と市長が手話による県名当てゲームや手話による自己紹介の練習などが行われ、交流を深めました。

テーマトーク② 平成27年2月13日  
熊本県立八代東高等学校

**生徒** 平成26年度は商業とスポーツに視点を置き、商店街でのパブリックビューイングやロアツソ熊本とのコラボにより特産品の販売とバスツアーを企画した。取り組みを後輩に引き継いでいくことで、八代東高校の可能性や楽しさを発信していきたい。

**市長** 地域と密着してやれることは商業科の特典である。引き継ぐ後輩など、皆さんの頑張り期待している。

**生徒** 若者が将来住みたい街づくりについて、市はどのようなことに取り組んでいるのか。

**市長** 将来住みたいと思う街にするには、働く場が必要である。フードバレー構想で県南農林水産物を活用した食関連産業や物流拠点形成し、雇用を増



▲今後取り組んでみたいことを発表する八代東高校生

やしていきたい。また、若い人が多い街ほど活力が出てくる。皆さんが八代を支えていくという想いで頑張っていただけばと思う。

**生徒** 生徒へのアンケートで出てきた市に改善して欲しい要望の中で、実現可能なものはあるか。

**市長** 商店街の活性化に取り組んでいる。私の学生時代は商店街に行くのが楽しみだったが、今の学生たちは大型ショッピングセンターに行く傾向がある。市民のニーズに応えられるよう取り組みを行っていきたい。また、路線バスやおれんじ鉄道への補助など、利用者が増加する取り組みを研究中有る。

**生徒** 八代港の発展も視野に入れて生産者と人をつなぐ取り組みを考えているが、市が考えている八代港の発展に手伝えることはないか。

**市長** 「東高マーケット」などを通して



得た生産者や流通業者、市民とのつながりを基に、八代港のPR方法の提案をしていただけたらありがたい。また、大型客船の入出港時セレモニーなどのお手伝いや、物産店での東高マーケットの出店を検討していただきたい。

**生徒** 本校で考案した「トマト」「イグサン」「ペイユン」という八代の特産品を使ったマスコットキャラクターがいる。このキャラクターを商標化し、八代のゆるキャラとして使えないか。

**市長** トマトの「とまピン」、い草の「ターミン」はあるが、三者をそろったキャラクターはない。大々的に使わせていただき、八代の物産PRに生かしたい。

皆さんの提案には取り組んでいけるものもあると思つたし、これまで行ってきた活動を報告していただいたが、その活動を後輩に伝えていただけたら、毎年懇談会ができるのではないかと感じた。